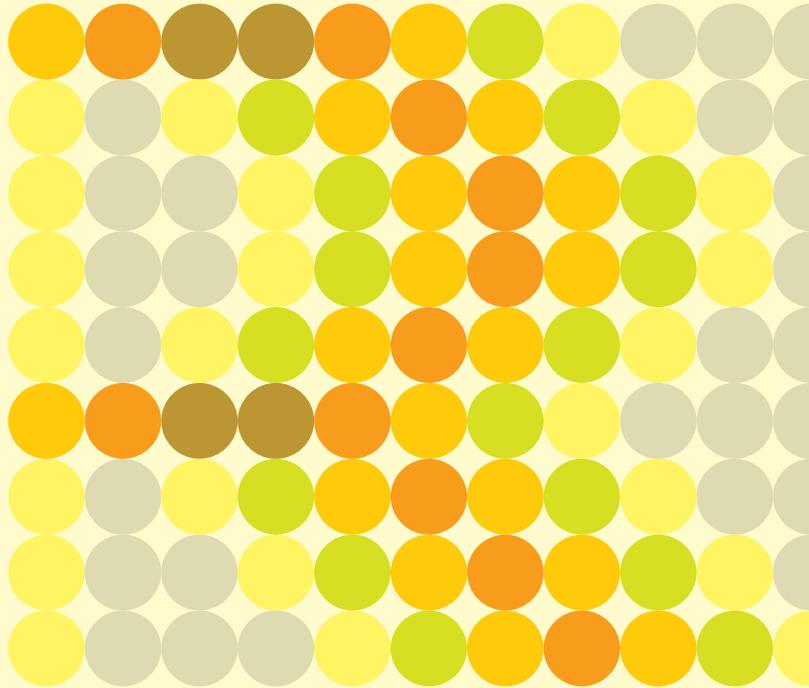




株主通信

2019年3月期 報告書
2018年4月1日～2019年3月31日



理想科学工業株式会社

証券コード：6413

株主の皆様へ

2019年3月期を終えて

当期は第六次中期経営計画「RISO Vision 19」の最終年度でした。

当期の概況と「RISO Vision 19」の3年間の概況などについて、社長の羽山明よりご説明いたします。



代表取締役社長 羽山 明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

主力のインクジェット事業は前年並みで推移

当期の業績は、売上高は前期比1.9%減の839億円、営業利益は2.5%減の37億7千1百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は8.6%減の27億7千1百万円となりました。為替の影響を除く試算では、売上高は前期比1.1%の減少、営業利益は6.2%の増加です。

このうち印刷機器事業の売上高は、インクジェット事業が前年並みとなりましたが、孔版事業の減少傾向が続き、全体では前期比2.1%減の825億5千6百万円となりました。インクジェット事業の連結売上高比率は50.9%です。

地域別の売上高では、日本と米州が前年を下回りましたが、欧州は前年並み、アジアは前年を上回りました。海外売上高比率は前期に比べ1.3ポイント増加し、44.6%となりました。

オフィスの多枚数プリント用途で 独自の製品を展開

当期は、経営方針に「市場設置台数の増加に注力しつつ、中長期における企業体質の強化に着手する」を掲げ、

オフィスの多枚数プリント用途で独自の製品を展開し、事業の拡大に取り組みました。

インクジェット事業では、昨年10月の最上位機種『オルフィスGD9630プレミアム』に続き、本年3月には、「オルフィスFWシリーズ」の後継機として、新インクの採用により視認性を向上させた「オルフィスFWIIシリーズ」を発売しました。

孔版事業では、高画質で2色プリントが可能なデジタル印刷機「リソグラフMFシリーズ」と、業界最速毎分190枚のハイスピードを誇る『リソグラフSF939G/939』をはじめとする「リソグラフSFシリーズ」を中心に販売活動を行いました。

プリント市場への新たな取り組みと 新規事業開発の環境整備

また、高速インクジェットプリンターの新たな可能性を追求し、データ・プリント市場で積極的にマーケティング活動を展開しました。世界各国の展示会に参考出展したカット紙のプロダクションプリンター『RISO T2』（毎分320ページ）は、その圧倒的な生産性により各国で高い



「RISO T2」(カット紙プロダクションプリンター)

評価をいただきました。すでに海外の一部顧客に試験販売を行い、実際のお客様の要望を理解するため検証を進めています。

これらの新規事業開発の環境を整えるため、茨城県つくば市に新たな開発拠点として研究開発棟(建築面積2,200㎡、地上2階建)を建設します。本年9月に着工し、2020年6月の竣工をめざします。建設費用は約16億円を予定しています。



研究開発棟(完成予想図)

「世界にない商品企画力を発揮する」を テーマに事業を展開

2017年3月期から2019年3月期までの3年間の第六次中期経営計画「RISO Vision 19」は、マネジメント目標に「全世界で安定した利益体質を拡大するため、世界にない商品企画力を発揮し、市場設置台数を増加する」を掲げ、新規顧客の獲得、販路の拡大に積極的に取り組みました。

株主の皆様へ

インクジェット事業では、2016年9月に毎分160枚という世界最速のプリントスピードと高い耐久性をもつ「オルフィスGDシリーズ」を発売。2018年10月には「オルフィスGDシリーズ」の最上位モデル『オルフィスGD9630プレミアム』を、本年3月には「オルフィスFWIIシリーズ」を発売し、多様なニーズに対応するラインアップの強化・充実を図りました。

孔版事業では、2016年8月に生産性・画像性・操作性を大幅に向上させた「リソグラフSFシリーズ」4機種を、2017年10月に「リソグラフMFシリーズ」4機種および業界最速のプリントスピードを実現した「リソグラフSFシリーズ」2機種を発売し、高速・低コスト・多枚数印刷のニーズに応える幅広い製品をそろえました。

また、より多くのお客様に当社製品を体験いただくため、国内外の展示会に数多く出展し、当社製品の高い技術力と獨創性を広くアピールしました。

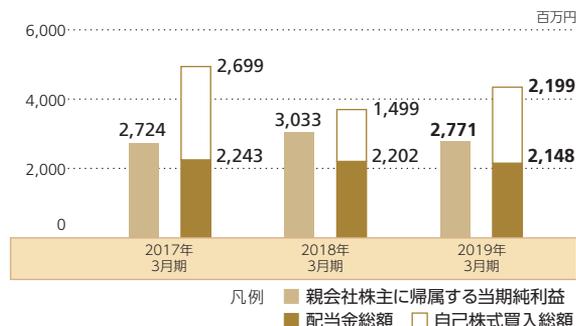
これらの取り組みにより、インクジェット事業では全世界での市場設置台数が増え売上も増加しました。しかし、事業環境の変化によりインクジェット事業の拡大が想定を下回りました。一方、孔版事業の減少傾向は継続しております。その結果、「RISO VISION 19」の数値ターゲットであった連結売上高850億円、連結営業利益70億円、ROE 7%には届きませんでした。

当期末の配当は1株につき60円に

当社は、「企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うこと」と「安定配当の継続に努めること」の2点を利益配分に関する基本方針としています。また、自己株式の取得も株主への利益還元のひとつと考え、株価水準や市場動向を考慮しながら実施していません。所有する自己株式は原則として消却する方針です。

以上の基本方針に基づき、配当については、期末配当による年1回の剰余金の配当を行います。2019年3月期末の配当は1株あたり60円とさせていただきました。配当性向は78.2%、総還元性向は156.9%です。自己株式については、当期中に合計89万5千1百株を21億9千9百万円で取得しました。

株主還元

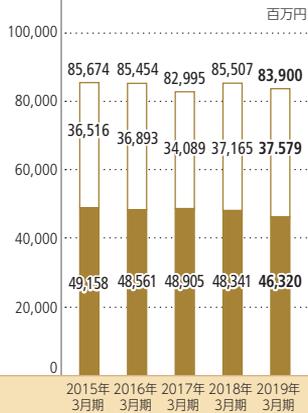


(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。

連結業績ハイライト

売上高(2019年3月期)

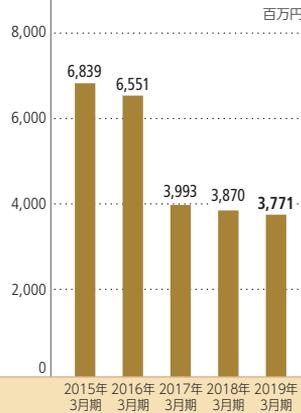
83,900百万円



凡例 ■ 国内 □ 海外

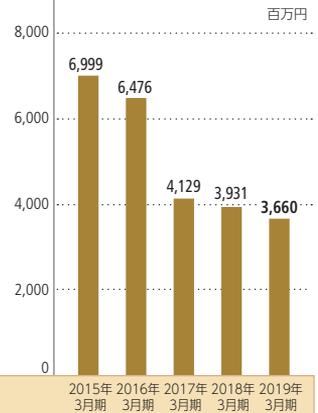
営業利益(2019年3月期)

3,771百万円



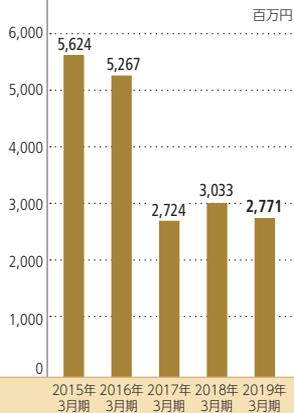
経常利益(2019年3月期)

3,660百万円



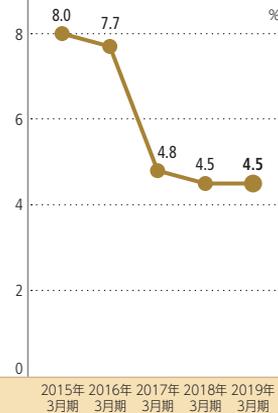
親会社株主に帰属する
当期純利益(2019年3月期)

2,771百万円



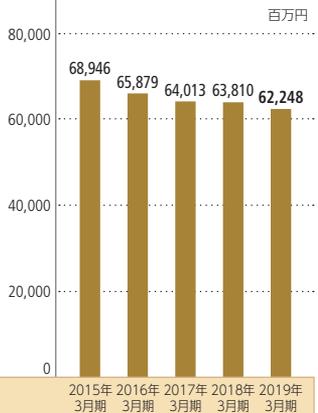
売上高営業利益率
(2019年3月期)

4.5%



純資産(2019年3月期)

62,248百万円



新中期経営計画と2020年3月期の方針、 業績見込みについて

2020年3月期から2022年3月期までの3年間を期間とする第七次中期経営計画「RISO Vision 22」が4月よりスタートしました。3カ年計画の概要や今期の経営方針、事業展開などについてご説明いたします。



代表取締役社長 羽山 明

5つのアクションプランを推進し、 連結売上高860億円をめざす

新たに策定した第七次中期経営計画「RISO Vision 22」のマネジメント目標は「インクジェット事業を拡大すると同時に、グループ全体の効率改善をすすめ、利益体質を強化する」です。またそのアクションプランは①「営業本部は『多枚数顧客への販売強化』と『本部体質の転換』を実行し収益を改善する」②「海外事業は『成長セグメントを伸ばす』ことと『不採算部門の改善』により収益を増加する」③「顧客志向に基づく開発を推進し、新規事業の創出に挑戦する」④「これからの製造のありかたを追求し、調達体制・製造体制の転換を進める」⑤「経営体制と管理手法を刷新し、経営企画機能の向上をはかる」の5項目です。

最終年度である2022年3月期の数値ターゲットは、連結売上高860億円、連結営業利益41億円です。

インクジェット事業の拡大と 孔版事業の強化に向けて

2020年3月期の経営方針は、「インクジェット事業の拡大と孔版事業の強化を実行する」「グループ効率改善に

向けて経営企画機能の強化に着手する]の2つです。

インクジェット事業では、強みである高速プリントによる高い生産性を発揮できる多枚数顧客への浸透がまだ十分ではないと考えています。そのため、これらの顧客をメインターゲットとした販売拡大に重点的に取り組んでいきます。

孔版事業は、減少傾向が続くなか一部新興国の教育機関向けを中心に売上が増加しており、こうした成長領域での販売を強化してまいります。

なお、本年7月には、印刷インキに関する環境マーク制度「インクグリーンマーク」を業界で初めて取得した「リソグラフSFIIシリーズ」4機種を発売します。今後とも、新製品を活用し教育機関や官公庁を中心とした多枚数印刷ニーズに積極的に応えていきます。

今期配当は当期と同じ1株につき60円を予定

2020年3月期の連結業績は、売上高は前年並みの833億円、営業利益は17.8%減の31億円、親会社株主に帰属する当期純利益は20.6%減の22億円、売上高営業利益率は3.7%を見込んでいます。

2020年3月期末の配当は、当期と同じく1株につき60円とする予定です。また、本年5月10日に自己株式取得を発表し、2019年5月21日から6月6日にかけて28万9千4百株、4億9千9百万円の買い入れを行いました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第七次中期経営計画 RISO Vision 22

(2019年4月1日～2022年3月31日)

マネジメント目標

インクジェット事業を拡大すると同時に、グループ全体の効率改善をすすめ、利益体質を強化する

アクションプラン

- ① 営業本部は「多枚数顧客への販売強化」と「本部体質の転換」を実行し収益を改善する
- ② 海外事業は「成長セグメントを伸ばす」と「不採算部門の改善」により収益を増加する
- ③ 顧客志向に基づく開発を推進し、新規事業の創出に挑戦する
- ④ これからの製造のありかたを追求し、調達体制・製造体制の転換を進める
- ⑤ 経営体制と管理手法を刷新し、経営企画機能の向上をはかる

数値ターゲット

連結売上高: **860**億円

連結営業利益: **41**億円

(前提とする為替レート:1米ドル110円、1ユーロ125円)

2020年3月期経営方針

1. インクジェット事業の拡大と孔版事業の強化を実行する
2. グループ効率改善に向けて経営企画機能の強化に着手する

財務諸表の概要(連結)

貸借対照表

科 目	(資産の部)		(負債の部)	
	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	前期末	当期末	前期末	当期末
	2018年3月31日	2019年3月31日	2018年3月31日	2019年3月31日
流動資産	48,672	47,875	流動負債	23,861
現金及び預金	17,047	17,359	支払手形及び買掛金	12,803
受取手形及び売掛金	16,047	15,246	短期借入金	1,100
有価証券	1,400	2,000	一年内返済予定の長期借入金	1
たな卸資産	12,514	11,423	未払法人税等	547
その他	1,956	2,126	賞与引当金	1,749
貸倒引当金	△ 293	△ 279	その他	7,659
固定資産	41,416	39,283	固定負債	2,417
有形固定資産	32,393	31,199	長期借入金	15
建物及び構築物	7,703	7,351	退職給付に係る負債	1,781
機械装置及び運搬具	1,463	1,284	その他	620
工具器具備品	942	813	負債合計	26,279
土地	17,632	17,651		24,909
その他	4,651	4,098		
無形固定資産	1,541	1,113		
ソフトウェア	1,213	1,065		
その他	328	48		
投資その他の資産	7,481	6,969		
投資有価証券	1,789	1,463		
繰延税金資産	2,701	2,478		
その他	3,033	3,036		
貸倒引当金	△ 42	△ 8		
資産合計	90,089	87,158		

(注)当期の有形固定資産の減価償却累計額41,027百万円

科 目	(負債の部)		(純資産の部)	
	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	前期末	当期末	前期末	当期末
	2018年3月31日	2019年3月31日	2018年3月31日	2019年3月31日
流動負債	23,861	22,871	株主資本	64,488
支払手形及び買掛金	12,803	11,546	資本金	14,114
短期借入金	1,100	821	資本剰余金	14,779
一年内返済予定の長期借入金	1	1	利益剰余金	51,468
未払法人税等	547	679	自己株式	△ 15,874
賞与引当金	1,749	1,760	その他の包括利益累計額	△ 678
その他	7,659	8,063	その他有価証券評価差額金	304
固定負債	2,417	2,038	為替換算調整勘定	△ 389
長期借入金	15	14	退職給付に係る調整累計額	△ 593
退職給付に係る負債	1,781	1,324	純資産合計	63,810
その他	620	699	負債純資産合計	90,089
負債合計	26,279	24,909		87,158

科 目	(純資産の部)		(負債の部)	
	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	前期末	当期末	前期末	当期末
	2018年3月31日	2019年3月31日	2018年3月31日	2019年3月31日
株主資本	64,488	62,858	流動負債	23,861
資本金	14,114	14,114	支払手形及び買掛金	12,803
資本剰余金	14,779	14,779	短期借入金	1,100
利益剰余金	51,468	52,038	一年内返済予定の長期借入金	1
自己株式	△ 15,874	△ 18,074	未払法人税等	547
その他の包括利益累計額	△ 678	△ 609	賞与引当金	1,749
その他有価証券評価差額金	304	△ 12	その他	7,659
為替換算調整勘定	△ 389	△ 478	固定負債	2,417
退職給付に係る調整累計額	△ 593	△ 118	長期借入金	15
純資産合計	63,810	62,248	退職給付に係る負債	1,781
負債純資産合計	90,089	87,158	その他	620

POINT① 自己株式

当期は89万5千1百株(21億9千9百万円)の自己株式を取得しました。

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
売上高	85,507	83,900
印刷機器事業	84,293	82,556
日本	47,244	45,123
米州	5,512	5,214
欧州	15,921	15,999
アジア	15,615	16,219
その他	1,213	1,343
売上原価	37,918	36,288
売上総利益	47,588	47,611
販売費及び一般管理費	43,718	43,839
営業利益	3,870	3,771
営業外収益	420	342
営業外費用	359	453
経常利益	3,931	3,660
特別利益	136	275
特別損失	99	—
税金等調整前当期純利益	3,968	3,935
法人税等	935	1,164
親会社株主に帰属する当期純利益	3,033	2,771

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,287	7,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,334	△ 1,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,062	△ 4,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	△ 70
現金及び現金同等物の増減額	2,951	893
現金及び現金同等物の期首残高	14,701	17,652
現金及び現金同等物の期末残高	17,652	18,545

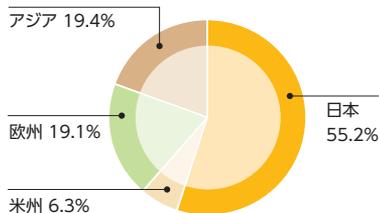
POINT② 売上高

前期に比べ売上高が16億7百万円(1.9%)減少しました。為替の影響を除く試算では、1.1%の減少となります。

POINT③ 営業利益

前期に比べ9千8百万円(2.5%)減少しました。為替の影響を除く試算では、6.2%の増加となります。

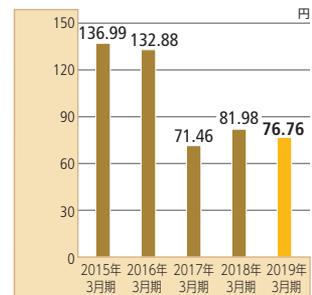
地域別売上高比率



自己資本当期純利益率(ROE) 推移



一株当たり当期純利益 推移



(注)2015年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合を持って株式分割いたしました。

「オルフィス発売15th記念展示会」をはじめ各種展示会に出展

当社は、より多くのお客様に製品を体験していただくため、当社主催の展示会や国内外のさまざまな展示会へ製品を出展しています。

当社主催の「オルフィス発売15th記念展示会」を、2018年11月から2019年3月にかけて全国各地で開催し、高速カラープリンター「オルフィス」やデジタル印刷機「リソグラフ」を一堂に展示しました。会場にはオフィスや教育などの業種・用途別の展示コーナーを設置し、それぞれのソリューション提案も行いました。また、発売15年を記念してRISOの歴史や「オルフィス」の進化の過程をご覧いただける歴史コーナーも設置しました。

このほか国内では、2019年1月にリード エグジビションジャパン株式会社が主催する「第3回スマート工場EXPO」に、2019年2月にはJAGAT(公益社団法人日本印刷技術協会)が主催する「page2019」に出展。海外では2018年9月にアメリカ・イリノイ州シカゴで開催された「PRINT18」などの展示会に出展しました。



「オルフィス発売15th記念展示会」(東京・新宿NSビル)

「鹿島アントラーズ」と クラブオフィシャルスポンサー契約

当社と、プロサッカークラブ「鹿島アントラーズ」とのクラブオフィシャルスポンサー契約は4年目を迎えます。今シーズンも、ユニフォームの背中裾部分に当社の企業ロゴマークが掲出されます。2019年2月には、「鹿島アントラーズキックオフパーティー」が都内のホテルで開催され、鈴木優磨選手からペナントが授与されました。



「鹿島アントラーズキックオフパーティー」でのペナント授与

新製品「オルフィスFWⅡシリーズ」・ 「リソグラフSFⅡシリーズ」を発売

当社は2019年3月に高速カラープリンター「オルフィスFWⅡシリーズ」を発売しました。さらに7月にはデジタル印刷機「リソグラフSFⅡシリーズ」4機種を発売します。

「オルフィスFWⅡシリーズ」は「FWシリーズ」の後継機種で、新インクへの変更により、フルカラーのランニングコストが1枚あたり1.52円から1.47円に低減するとともに、印刷物の視認性が向上しました。さらには、各社の認証印刷ソリューション（MPS）に対応し、最適な出力環境を構築できるようにしました。

一方、「リソグラフSFⅡシリーズ」は、従来は上位モデルにのみ搭載していた機能をスタンダードモデルに展開。利便性を向上しました。さらなる環境負荷低減を追求し、孔版インクとして業界初となる「インキグリーンマーク」を取得しました。



【オルフィスFW5230Ⅱ】

【リソグラフSF935Ⅱ】

箱根駅伝の号外印刷に「オルフィス」が活躍

2019年1月2日・3日に行われた「第95回東京箱根間往復大学駅伝競走」のレース結果の号外印刷に、今年も高速カラープリンター「オルフィス」が活躍しました。大会を共催する読売新聞社と連携しながら、現地で記事を編集。現地では「オルフィス」4台でレース結果を即座に大量印刷し、合計約15,000枚の号外を往路・復路それぞれのゴール付近に集まった多くの方々へ配布しました。

インドネシア・スラウェシ島 地震・津波被害に対し支援金を拠出

当社は、2018年9月にインドネシア・スラウェシ島で発生した地震と津波で被災された方々への支援と被災地の復興のため、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム「スラウェシ島地震・津波被災者支援2018」プログラムを通じて総額100万円の支援金を拠出しました。



往路ゴール付近で号外を配布する様子

世界の子どもたちの学びを支える 「オルフィス」「リソグラフ」

世界の学校教育現場に導入されている当社の高速カラープリンター「オルフィス」とデジタル印刷機「リソグラフ」。どのように活躍しているのか、その一部をご紹介します。

現在、世界190以上の国や地域の教育機関で活用いただいている、理想科学の高速カラープリンター「オルフィス」とデジタル印刷機「リソグラフ」。その高速プリントによる高い生産性と経済性が世界中の学校教育現場を支えています。

学校では、子どもたちの教材や保護者宛のお知らせな

ど、毎日大量のプリントを必要としています。「リソグラフ」なら最高毎分190枚の高速プリントで、休み時間などの短い間に先生方が教材を用意することができます。また、理科や社会のグラフや写真など、カラーによる理解促進が不可欠な教材には、プリント単価を抑えた「オルフィス」のフルカラープリントをご活用いただいています。



イギリス・レインハム
スカーギル幼児学校



コストを抑えた「オルフィス」のフルカラー印刷で、子どもたちの理解促進をサポート



インド・ハイデラバード
カカティア高校



多種・多様な試験問題の印刷にかかる労力と時間を「リソグラフ」が大幅カット



南アフリカ・ヨハネスブルグ
マルフラナ小学校



スピードと安定した印刷品質で、日々の教材や保護者向け案内の印刷に「リソグラフ」が活躍



アメリカ・マサチューセッツ州
サマービル高校



キャリア学習の一環で、デザインと印刷を学習。カラーで製本ができる「オルフィス」が活躍

RISOのお客様

高速カラープリンター「オルフィス」やデジタル印刷機「リソグラフ」をお使いいただいているお客様をご紹介しますコーナーです。今回は、ハリウッド大学院大学・ハリウッド美容専門学校様と株式会社俵屋吉富様をご紹介します。

ORPHIS

「オルフィス」を使い続けて14年



ハリウッド大学院大学・ハリウッド美容専門学校(東京都港区)

ハリウッド美容講習所として1925年にスタートしたメイ・ウシヤマ学園は、90年以上にわたり、多くの美容師や

メイクアップアーティストを輩出してきました。その美容教育の現場で、2005年から「オルフィス」が活躍しています。

ハリウッド大学院大学・ハリウッド美容専門学校様では、「印刷スピードが速い分、その時間を使ってリーフレットの内容をじっくり考えることができること」と「カラーで作成した教材が学生たちの理解促進につながっていること」を特にご評価いただいています。カラーで印刷するのは、オリジナルの教材・テスト用紙・資料類に加え、イベントのパンフレットやリーフレット、ダイレクトメール、各種広報物、名刺と多岐にわたります。現在、「オルフィスGD」による印刷は1カ月に平均6万枚。印刷スピードが速いのでストレスを感じることはない、とてもご満足いただいています。

RISOGRAPH

「リソグラフ」でお客様の期待に応える「のし」を提供



株式会社俵屋吉富(京都府京都市)

株式会社俵屋吉富様は、1755(宝暦5)年創業の京都でも指折りの京菓子の老舗。市内に4店舗があり、百貨店

などにも出店。「リソグラフ」と専用の「のし」ソフトが活躍しています。

俵屋吉富様の本店で販売される贈答用の商品ではほぼすべて、商品全体でも9割近くで「のし」が用いられ、そのうち約7割には名前などを入れる必要があるそうです。「名前入れの需要が増え、『リソグラフSF939』と専用ソフト『理想筆耕職人のし』の導入に踏み切りました」と総務部の内山英樹部長は語ります。

『理想筆耕職人のし』は誰でも使えるので、筆耕の不在時や、お通夜の粗供養そくようなどの急な発注にも、慌てずに対応できる安心感が何よりも嬉しいですね」と内山部長。「リソグラフ」で作業効率が格段にアップしたと高いご評価をいただいています。

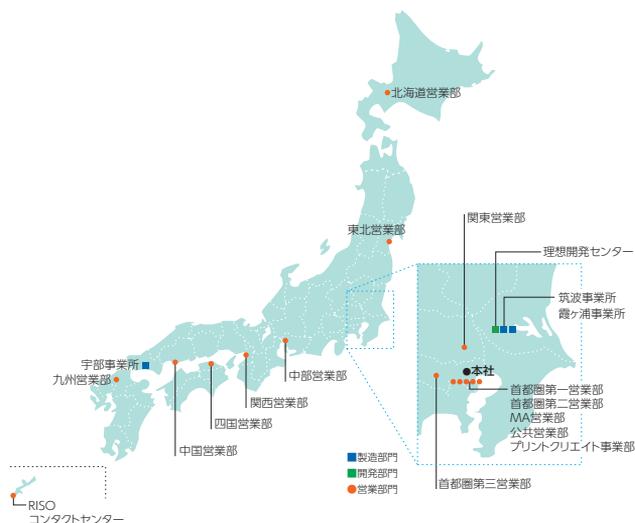
RISOネットワーク (2019年6月25日現在)

国内

当社の販売ネットワークは13営業部44支店2出張所及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートやサプライの供給体制も全国規模で展開しております。

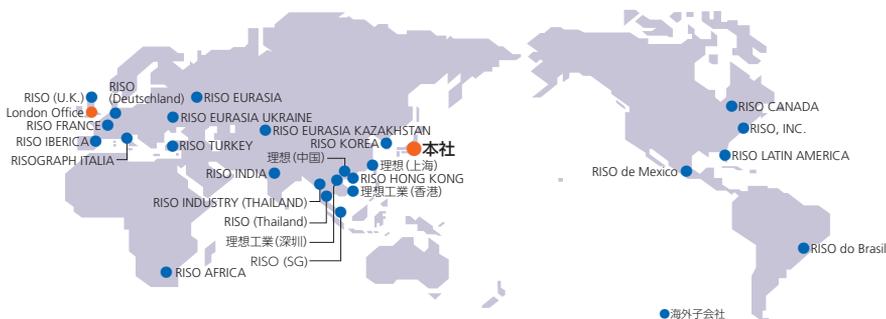
国内3カ所の製造部門では、オルフィスのハードウェア・インク及びリソグラフのインク・マスターなどを生産しています。

開発部門は茨城県つくば市の「理想開発センター」で次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



海外

当社は26の海外子会社を中心に、オルフィス、リソグラフなどの販売や技術サポート、サプライの供給を行っています。また、中国・広東省の深圳工場、タイ・アユタヤ県のロジャナ工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,600名以上のスタッフが、様々な国の人たちとのコミュニケーションを大切にし、多くのお客様をサポートしています。



海外の主な子会社

RISO, INC.
RISO CANADA, INC.
RISO LATIN AMERICA, INC.
RISO de Mexico, S.A. de C.V.
RISO do Brasil Ltda.
RISO (U.K.) LTD.
RISO (Deutschland) GmbH
RISO FRANCE S.A.
RISO IBERICA, S.A.

RISOGRAPH ITALIA S.R.L.
RISO EURASIA LLC
RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
RISO EURASIA UKRAINE LLC
RISO TURKEY BASKI COZUMLERI A.S.
RISO AFRICA (PTY) LTD.
理想工業(香港)有限公司
理想工業(深圳)有限公司

理想(中国)科学工業有限公司
理想(上海)印刷器材有限公司
RISO HONG KONG LTD.
RISO (Thailand) LTD.
RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
RISO INDIA PRIVATE LTD.
RISO KOREA LTD.
RISO (SG) PTE. LTD.

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	135,680,000株	(前期末比 増減なし)
発行済株式の総数	47,406,332株	(前期末比 増減なし)
株主数	2,746名	(前期末比 344名 増加)

株式数比率



大株主一覧(上位10人)	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社理想社	4,941	13.80
公益財団法人理想教育財団	2,661	7.43
あかつき興産株式会社	1,959	5.47
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 きらぼし銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	1,567	4.37
理想科学工業従業員持株会	1,397	3.90
羽山 治	1,194	3.33
羽山 尚	1,180	3.29
羽山 明	1,155	3.22
伊藤 眞理子	1,089	3.04
株式会社DAWN	804	2.24

(注) 1.当社は自己株式11,599,991株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2.持株比率は自己株式11,599,991株を控除して計算しております。

自己株式の取得について

当期中に取得した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	895,100株
取得価格	2,199百万円

会社概要

商号	理想科学工業株式会社
本社	〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号
創業	1946年9月2日
会社設立	1955年1月25日
資本金	14,114,985,384円 (2019年3月31日現在)
従業員数	1,757名(グループ全体 3,626名) (2019年3月31日現在)
子会社	28社(国内2社 海外26社) (2019年3月31日現在)

取締役、監査役及び執行役員

(取締役、監査役)	代表取締役	羽山 明
	取締役	成宮 慶臣
	取締役	池嶋 昭一
	取締役	大島 健嗣
	取締役	谷田部俊明*
	取締役	鳥飼 重和*
	常勤監査役	田澤 康男
	常勤監査役	白井 信義
	監査役	飯塚 良成*
	監査役	八田 進二*
(執行役員)	社長執行役員	羽山 明
	執行役員	成宮 慶臣
	執行役員	池嶋 昭一
	執行役員	大島 健嗣
	執行役員	川津 俊彦
	執行役員	鈴木 聡
	執行役員	加野 敏明
	執行役員	林 享史
	執行役員	西田 幸弘
	執行役員	三馬 秀利
	執行役員	富山 文弥
	執行役員	西山 武彦

(2019年6月25日現在)

(注)*印は会社法第2条第15号及び第16号に定める社外取締役及び社外監査役です。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次業務は三井住友信託銀行株式会社の 全国各支店で行っております。
公告掲載URL	https://www.riso.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告による公告ができない 場合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

将来に関する記載等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。



理想科学は、サッカーリーグの
鹿島アントラーズを応援しています。



本株主通信は、環境にやさしいFSC®認証紙と、
植物性インキを使用しております。

株主インフォメーション

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため当社が開設した特別口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

理想科学ソーシャルメディア公式アカウント



公式アカウント一覧はこちら
<https://www.riso.co.jp/sm/>



理想科学工業株式会社

本社/〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル
ホームページアドレス <https://www.riso.co.jp/>